湖月抄

あらまし

十七

秋山文庫藏書
久曙文庫

角絡

細 巻名次第并銅号之事　今よハ　あげまきよりあがる事歟

とひとびとめ　細 おなじ所よりもあるべし　細 よハ　あげまき

とくとくれよりもあるべし　細 あげまきと神よハ絡角

とりけ　童のかぶ　細 ハ絡角紐と云り　色ハ多くて

ひとびとのつり　細 巻の名ハ　細 ハ絡角を平角　花 あげまき

よ二つあり　童　とりの髪をとりてあげうなじ

又車　よいこ　みくらて　くくりもあげまきとふ　細

あげうきハ　あてうきとあげうなじ　細 巻九三巻の状　巻

でのまく　盃　細 巻九三巻の状　巻

巻　いろ　絡角

あること　細 ハ　巻九三巻の状　巻　年　年

細 巻の名　盃 巻の名　花 ハ　巻九三巻の状　巻

あること　細 ハ　巻九三巻の状　巻　年　年

とあるあれど　細 ハ　巻九三巻の状　巻

絡　くくりもあげまき　細 ハ　巻九三巻の状　巻

とあること　細 ハ　巻九三巻の状　巻

うくるれ絡　細 ハ　巻九三巻の状　巻　川角　細 ハ　巻九三巻の状　巻

ものこと　細 ハ　巻九三巻の状　巻　盃 巻　細 ハ　巻九三巻の状　巻

状　盃 巻　細 ハ　巻九三巻の状　巻

一回　細 ハ　巻九三巻の状　巻

そのこと　細 ハ　巻九三巻の状　巻　盃 巻　細 ハ　巻九三巻の状　巻

こと　細 ハ　巻九三巻の状　巻　盃 巻　細 ハ　巻九三巻の状　巻

巻

河名香糸行香机四角
結垂線也花さゝぬくの
者を紙は色てめ色の
糸にて結つけて仏よ
ゝ
名香糸
細名香糸
結びあつる性なる
雪んの一河海院下
孟同
細糸の郷名
白一別とうとうよ
消ぬ物なれどうてあれ花
世よにてあり
孟八文よゝるれてゝ
ゝてもへめりと姫君
の物へ
細糸とゝ物へ
明花島延長式とのゝ
本勅之令神祇令第六
注金水桶金綴柱奉伊
勢神宮ゝ
孟いとを
ゝ物へ
ゝとめこゞ
ゝとのゝゝとゝゝ
けうむ付の一に糸わゝ

名香のいと
赤
ひめみぎりく
てもへめりるどゝゝ
細姫君
ゝひ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

盃素よりくゝもとゞまる
じとゝ云へバ二ツあり
さ國うて云ふ酒ハ
せとゝ大素の酒
くよりうつ伯るみそ
細りくせうるれうる宗
ゆ後番よハ者と云ゝ
へさしく
何ものみとくれ
細ゝろよゝゝとれ宮
ゝの中るれゝもそ
ゝのゝまみもちハ
白素へうへけのゝ又ハ
素の大者よりのゝ結
ゝゝるゝとこそのゝ通
いゝへもゝよ 細ゝろゝ
ゝる絹をゝ古素ハ米の
つゝそゝもの絹ゝゝり
しゝゝ
行ゝうゝ風ゝく
紀今ゝゝよゝゝゝ
絹とゝゝ絹ゝゝ
しゝゝゝゝゝ
栄ゝんゝゝてゝゝ

のゝてゝそハゝうまでゝやゝゝゝれ
ゝゝゝたゝゝ結ゝてゝゝゝくゝて
ゝゝれゝゝそれゝゝゝゝゝゝゝゝ
作れ。それゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三 只世別世づくさ
[illegible]

三 この心ばせ
[illegible]

[illegible]

[illegible]

仏の教とも紙たくさん
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中君を白きへとりてうつくしくもあるかなこのひとのうつくしうのすいふまうしきこゑよりうまうせていかなるうたをかはるとうたうまうせてやんとあるうぬまうせてえうとうたうまうせてやんとあるうぬ

三ぐうまうせてやんとあるうぬまうせてえうとうたうまうせてやんとあるうぬ

いづくにてもうつくしげなるかなおほきみはあるかなどもおほきみはえもいはずうつくしうはかなよそひのやうよいかたもえうとうたうまうせてえうとうたうまうせてえうとうたうまうせて

孟扇
ていらうめいらうさよあいまちてけれ
まいんげとそくりてそてそめぐと
物後ゆめし給ふらうくべうもあるぬの
うるうしげよ赤つきて物の給へ
ふ海のるれうるべうろよ入くど
簾屏風へうと中の湯てそ
いうそとそぐりをさそりどろうてゆつ
ふつてをぐをそろをそさのあまり
おこげまいうをあうるとふつげうる
生どつれるくて大そさの世中れそども
表ふをかうをさ海ぐ哭和ゆわく
うるひゆめし給ふ人ぐちうる

大そさの世中のゆとも
孟ちとも高後の方をて業のゆさるそ
あうれふてかくも
三業の物ろうしふ

きうとまてそれ給そさ
ちうん　孟さふふ人そ
の用捨して歩るそ仰と
てもをてそうれまう
と物ふ故とそ
まりうきうしも
三人そハ物ちんして
ちくまうるそ

やまちまけ作ろう人そ
孟業の報勇をこくて
て山後ぶつる人と大そ
のまそ

どの給をきつれどさーをりてそるれ
給いぶるんとうべうめれいてそまう
りうそてどさーうぞさつこれまり
ふて給のけとそーゆもくぐう人をど
おそ物むつうて志のびく人めをど
ぶぐうるどうちのうさうるやまし
う作うをうあらひて曉ぐさゆもゆのう
ひとそいう給るんとすうそきうりや
細業の用
まづるけ作りつる人へゆーていとうる
しうれどうゆのしうけ給ろうよなぐ
まうそそ作れぐうをそいうを給み
ぐいそんぼそうんとて扇風をやそう

てをきしいろとや
いろん　蓋のおよそう
やうよ物へくそくるれと
いろうあるすびあぐ
のあひて海ものさや
よとのすをとびくの結
ひて・ものそくとちち
まふをうくてのきふ
大蓋の物
やくしきせんそそう
玉藻ものとりうせんそ
きちわさやとそ大蓋の
物よ海ものしいうれを
やつふらんとのあふよ蓋
ちくくるすちもいるすち
仏とちくくるちとそ蓋
それを蓋ちも蓋ちさ
いちくくとそもちくく
うあるちさうちとのふ
物の蓋

そわれて入るぬいとひくつけうてなり
らづうりうくまちるよ。ものさとぐめくれ
て。いうぐうねくこちろまれべくて
ちさくはうくふとやいちんめづく
うちわざうれとわばめまつうさ面のいよ
くかうくそれい海ぬくとうくよがり
わうねいかくくちくをんとぞうくえんづく
うちくとびるちくさよがりくちよう
いあうんれのはまんみくちうごとりして
ゆくんうくてなちうさせ結それんや
ぶくくとちくてゆれべんいうくくもも
とうちちふまぐうれどうようぐふ

細愚癡うちうづくさをくく師大蓋よあうでふをうとうり
ちれもものあくうちゆそやとてふあくさ
細蓋のうち
行ちるゆげよはぐうのこうれうちうと。
大蓋をちうちう物
うようわうちおうげちうちうぼて
うあさまくくされもくくうよはちいくうん人い
さうづれわうまづげるうれ紙ちうて蓋
うう人をあくくまくうべそやくくれまの。
いようちめくくさちぐうくくちとうく
くのうくうのやちくくひさんかやうくれ
ぐくまつうどいかうくうくとちひてな
さ結けう氣久めのいとくちくれべうくん

人のくくくくちとくいうり物ふまくちれと　世の人くちうくにくくちうの中とくちうのまう
さくぐふくあくぐくとくいうちうれ
細蓋のうち
行ちるゆげよはぐうのこうれうちうと。
大蓋をちうちう物
うようわうちおうげちうちうぼて
うあさまくくされもくくうよはちいくうん人い
さうづれわうまづげるうれ紙ちうて蓋
うう人をあくくまくうべそやくくれまの。
いようちめくくさちぐうくくちとうく
くのうくうのやちくくひさんかやうくれ
ぐくまつうどいかうくうくとちひてな
さ結けう氣久めのいとくちくれべうくん

細蓋のうち
行ちるゆげよはぐうのこうれうちうと。
大蓋をちうちう物
うようわうちおうげちうちうぼて
うあさまくくされもくくうよはちいくうん人い
さうづれわうまづげるうれ紙ちうて蓋
うう人をあくくまくうべそやくくれまの。
いようちめくくさちぐうくくちとうく
くのうくうのやちくくひさんかやうくれ
ぐくまつうどいかうくうくとちひてな
さ結けう氣久めのいとくちくれべうくん

蓋のうち　世の人くちうくにくくちうの中とくちうのまう
細蓋のうち
行ちるゆげよはぐうのこうれうちうと。
大蓋をちうちう物
うようわうちおうげちうちうぼて
うあさまくくされもくくうよはちいくうん人い
さうづれわうまづげるうれ紙ちうて蓋
うう人をあくくまくうべそやくくれまの。
いようちめくくさちぐうくくちとうく
くのうくうのやちくくひさんかやうくれ
ぐくまつうどいかうくうくとちひてな
さ結けう氣久めのいとくちくれべうくん

そふらくされとうらうよ大
君のうしとそふてをを
ろれいふいらくをてさ
らいみ童てゆうしのふわ
とあしんと君の月ゆをと
くうれんのかをとやひとく
て　細　大君の初うり
盃君ををうにくうつけ
ろろ人といたてで別ろ
をゆうてうろ服の色
をんあうしまふんあさ
さよ紙さあうれうふ
くひうもやひうしまて
にありきに唐ひうきさ
と大君のうしまゆ
三　君のれんをくわん
しもうていひうれあ
うをを大君の後悔しま
ちあく
いとうしうしを　細　君ゆう
あまりよいをひふもあ
とく　三　君のうくを人
君の命もをを紙をとを同
忘もいまをうの後うれを

あしでをのづくんゆうひしく後ありも
きうんとをいをりうをうをうまうなう
をんぐうしくをうをうをうをうをうを
細　君のんのうをうの後
後ううれんのやどををうくでおやしれ
まぐくくくしうれまうをゆうをう後の
いううぐをあくくくを後をあさよを
づくくのいうひうをもをうくうう
さ海ぐくうぐさひうくさうくとうくくを
大君の月ををもうを服の袖をんれうをを後をあとを
をよんうをうすくやうれまうるすをぐめ乃
ゆうげをいくくくうをうくをびくくとをまく
ひをうういをくくをゆがうくやうくを
いをうくくをゆうをうをうをうをを
ゆうをくくをんうをを。後

後のうをとのをうをう
三　ををうり君のをうをを
をうり
ゆうんくうれゆうをうをうさ
くのをうをうををうはうの
ををうくをうくの後ぐき
をあくくをくを　盃をく
をううれうを紙うれ
服の色の後ゆうをあり
あくををくくを君の後
中くをうを後ををを
をうくくのうふひうをを
をひをくくうくを大君
の乃のふあをを君のあうり
をうれ弁へくうのを
ををうくうくうんを
　お　後ゆうをを君のね
をくくけうをうおの乃
君をと君の乃ををとを
のををうをこめをうくを
をて宮くくをを君をを
をひうをうくくを後乃をを

後のをを君をを後
をををのをををを
をれどくくをを後ゆうをを
くくのをうくくををゆうをを
後をうををををを
ををうくをを後をを
盃後をを君をを君の後
のををくくををををを
ををうくくををををを
ぐくを乃ををををを
細　大君のをを
ををくくををををを
君をををををを
ををうんをををを
細　君をををを
ちを後をくくをを
をくくくくくくを
ををくくくくくを
をくくくくくくを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陝斷秋心緒瀧水流流萩涙行江相公 作 今治の山里乃花ゆうべ
るゝ　のいぐもあり 細 征馬連嘶行人出 白氏文集

たうしう　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
じょう　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
盃 大悲し美しく　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
つゆよ　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
のつゆ　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
よりて　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
すくて　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
じんよ　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
細 大君のこゝろ　盃 大君のこゝろもとけまし　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ

うよ　直面よりハ　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
よんの　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
の　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
細 美の句　ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ
ゆうべ　ひろうして　つゆ　宵ぬ

のんかりしとも春しかり
ちくぬいうひもかさしを
今ちりのちはされハてて
はされなてそいおのある
ちちるちんのかもかか
しちくぬこそとそる
よ春ちる初くさちう
のんのかと高ひられも
しそ紙ちとうちしそて
今ちりのちハ葉よちさ
びもせんとのくるもも
曉のちられや 細ちう
ちね曉ちさの別ハは
ちさくまちんの物よそる
ちる師ちの初よけよ面
どひぬくさとしハ年奇
よ面ちてけとちう
赤ちりひ物ちう 山里の
ち面多くにちけ屋者
ち物ちてもちてちれ
山里の 細葉の奇く変
くしハ嵐の屋と色の
出をしんちけちてひ
又村者のちちまふ

かちんの初と春と物りちてぬこそ
ひるちるちれちて出ちんの奇ちりの
細ちの
ちさもしちうちいるちんとて
細ちの初
ハちれどこそりて物ちんまて
盃今朝ハ月ハちちよちこひ物ちうこ
よあちんけさハまちこ学ゆちよちさひ
盃ハ葉のんまにちちんこ
ちくて、いとちくちとちりちれば
助まこ
ちんちいちるちや曉の別 やちどこちこぬて
細葉の初
あちるちるちや曉の別 やちどこちこぬて
ちよて、けよまどひめどちとちける
ちどちなるちはちるもいけちよちあちん
細葉の奇ん
山里
ちのちよちちるよ京ちひ出ちう
山里のあちれちちちちちちよちり
ちちあちさけちけちれ女ち

狩風紅葉さ羽のちの奇屋ちりも
狩ちまどちちちちハちちちちちん
ちちちの奇ちの明 後成ちの奇 曉ちちちの奇ちの乃声
盃 大ちの奇
ちちハ海ちさ山とちひつ
ちよ世のちちちちハちう
もちちちちちは今和の葉
のちとちう 河 紅葉
の声も雲ぬ奥山乃
ちちちんちハちちちん
川奇ちちハちちちち
ちちじにまてちちう
盃大ちの奇
ちちの雲ハ雲のちちて
ちちの雲ハ雲のちちて
ちちう ちちちて 狩 葉
紅ちちちちちちちちう
ちう 妹ちう紅ちちちう
く狩ちちちちれ花
ちちんちちちくちちんて
ちちちちちちちちちん
盃 大ちの奇
ちちの雲ハ雲のちちて
ちちの雲ハ雲のちちて
ちちう ちちちて 狩 葉
紅ちちちちちちちちう
ちう 妹ちう紅ちちちう
く狩ちちちちれ花
ちちんちちちくちちんて
ちちちちちちちちちん
ちちハ海ちさ山とちひつ
ちよ世のちちちちハちう
もちちちちちは今和の葉
のちとちう 河 紅葉
の声も雲ぬ奥山乃
ちちちんちハちちちん
川奇ちちハちちちち
ちちじにまてちちう
盃大ちの奇
ちちの雲ハ雲のちちて
ちちの雲ハ雲のちちて
ちちう ちちちて 狩 葉
紅ちちちちちちちちう
ちう 妹ちう紅ちちちう
く狩ちちちちれ花
ちちんちちちくちちんて
ちちちちちちちちちん

ひつくりつぐひいづ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

又婦者より引き出物
中者のつまとひきいだす
なり 曦笑

あけまきを 細 大者の心
なりあけまきの中を
ひきうつしまひをを
いぐ中者の心なりん
しし 仰者より者のあけ
きをよ水をきをとを
きうひーとを大者さうれん
よはもあるとりうさ
間のあぐくりうのあ
らひきひーとも文を紙
ふありてひうづりのけぢ

ひきうのまぐさうべくもあくくぞゆり
うらうらもとれば 細 信姫の者をはりしく元
ひうんふあくんとあるべ
くくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今はとてめさせて作り
盃服を設て行人交乃
手を勢り強さを
久さてめと天ぞう
作られを業の根俗
て年をとりてうを強

三つのすきうる
三ゆきつり北西の行乗

うつれまくんと
三業をうちひきまち
人とやみ
姫君をうり北をいふう
三人との業をうちひ
さまくん　ゆりみでハ
ちうきうるどうちうく海
じさんくのみぞいたひ
ゆうく

まつり今細文のたうそうこ
まぐひよ中くちづく行てるんゆうく
ぬるあり根業まびく例の人りてぐち
びよのうるへうよちぬんぼそうのる
ぐうあよハ山業をのくれうくうちをゆうし
人ぐうれびやひよりるうひうてびものつる
乃すうるようりひうぐ結うんぐと
めぐうるるべうくうひめをてさ
ぐうれまうんとうれうくうひめをせい
見姫君をうのうくとびふうくうつを
結うるどうくうりわうて人めうる
まやうたたのうようちうひてうちうれ
つけ結めうようちうひてうちうれ

ひうぬうるるもふりて
やう　暁　音を宮ふうう
ちうくうことハうくうく
所大うさひうも女房
どの壁ちてうぬぐのう
ハうくうく
せめてうくうふうくハ
細つうく根うぬつ中
業をうう出をつうさく
し盃紙くうちう中業
ををう出うん紙うり
うくうりんうても業
のうよて後くうてな
れまうさを中業紙
うりうくうさりてふく
うのうふをえうめてく
細業中文よ建てめ
結つくうるくうをうさ
くうのうしくうく　細業の
ふうり中文よりうハ
ぬうまつくくう
うのよりんあうぬをうけひ
くうくうくのうりなうハ

ひうんむうり物結ふをふりてや
白　ゆうあうくうくうくうもあうくうちうくま
じうさハうんのうふうくうあうれをうひよ
ゆうをうくうくうくうれうさ
ゆうまうひてをめてうくうくうくうれ
うう紙をうしぞんをとうぐ後をうんふうく
ぐうようてうくうくうくうをうめうさううハ
りてをうすまぐうさうろうあうをうり
てはのうふうをうう物ていうぐうさうんうく
よいぐうハいうぐうハふうくうさうくうぐうち
うう人のめうんはいうようんめうくぬをう
けひうく乳文のうりうハうう人ハ乃
やうんうくをあうるうめうさうさうよや

中志ハ業の手をよりあうぬうく
細文

孟嘗の中将とうけひく
[illegible]
人のはりうんかをはり
[illegible]
細 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

閉の文乃清て　細服とぬ
さくつなのけそとさせ
をくんとく　盃蓋の射
面よ者めこの出衣とをて
はなあれと衣をぐ帯く

山ゆーの花　細世界さう
しくいひくもいづに
う男とばくさん山色し
の花　盃銀男とくもん
さくうのあくさとし左表の
ゑく

あるよごくくくもくくくひゆのし結るうの表
縁の道のるくくくもそぐみけいまもくくくりしば
世界とくくくめくくるよくくく

みものをひとゆめをきき
今も泣れりしくをひ
しとそ

うらをまもるもこゝこの氏
ゆりよ　ひこ治の山若も
大夫ハくるーうねと中
夫のく理れてさうを
のそんまのかーさのれよ
うらもまねを不せく
大夫のちよをそ
分をまけうらんの中ハ
不分うれハうぐまぐ分と
ひりのやうにちみんの
うちハうる中夫よまえ
ゆうりて夫のくーを
うんうく

文のムかりてそく
よーぐみさ海なうはんぐくのまぐつて
根治めうこてもうるうれたまりよくへめさ
乃とひ治うるうまのんとそこ
てあくまはしさ分るくべうれこと
ををるよりてるれてもムいます
されど著うちムうれそめうらんよ
ていくうこさをこの夫乃さうる治を
んをロかーげよううをまねをぐば
れゆりよ不をくのそばゆうをまこよ
むーと堪ひさて治うぐーるくべ
ゆすぐーこようるまくりこ紙ふうム
のくうもくられゆづりてをもんんう
うんをべさる紙うやうようーげよ

文をうれうーぐうくひうう根うべき
海とのの治つぐうれべいて夫と見をうう
さのくうそハされくもれ氣色をうこめム
夫べいとうくうくうくさをれどさはえム
ひあくくむまぐき治うム文の氏根ム
さをうくうめれぐまそるさ海よいて
うくうムうこうくさくんとるんぐくて治
文をせ治うんよいそくもくせよのこぐ
うされうくーとぐをくつぐひ治ハぐう

文をうこさ海よいとうく
くうくうこ文氏根ム
ひ夫をのくうてそをそれへ
引合せうくーせて夫の
くうくんとく

そうをく世よをうこ
をまくをくつをひ治
文母のムとつうて作夫
夫の氏縁をとうくくひ
ムくくもうやうよ白文

蓋をのけるものやうに
ものをくめくくさせ
ちえあるまいきとく

それいさうびき人の　義改
文のはしをも似合ち
人れたるをぞ
をぞえをの書みだよ
るりまひてはのはま
しめるりしとく
けれくさやうるるるる人
而　八文も蓋のまろ
めつくとなりせられさ
るるまもあるとく

細くけるきゃうかれとぐく　孟元はやめくさうすれどもと
参詣のかれは　孟元はやめくさうすれどもとつぎるげ
まいうとくれどうくつとつぎるげ
てさせ給ふんとうろめてうるすう
のをみまるとをはのれうろとうるよいるもも
けれどうのくくめでこさけをくせど
をようそかつまいるるんいりぐ
ものひくくゆうあるのはをはとぐ
とはがめをくとはくうるれどそ
れいさうびさひのはをどられが
るうぬこやかつまくんと芝て
いはもあの乗はのの
厳のさやうかるんぐ拍しはまいが

ことばうるよるるる出
孟自よ中君蓋よ大君
を合せまるくせんるはい
俗よつるりのくくん
やうるるるとく

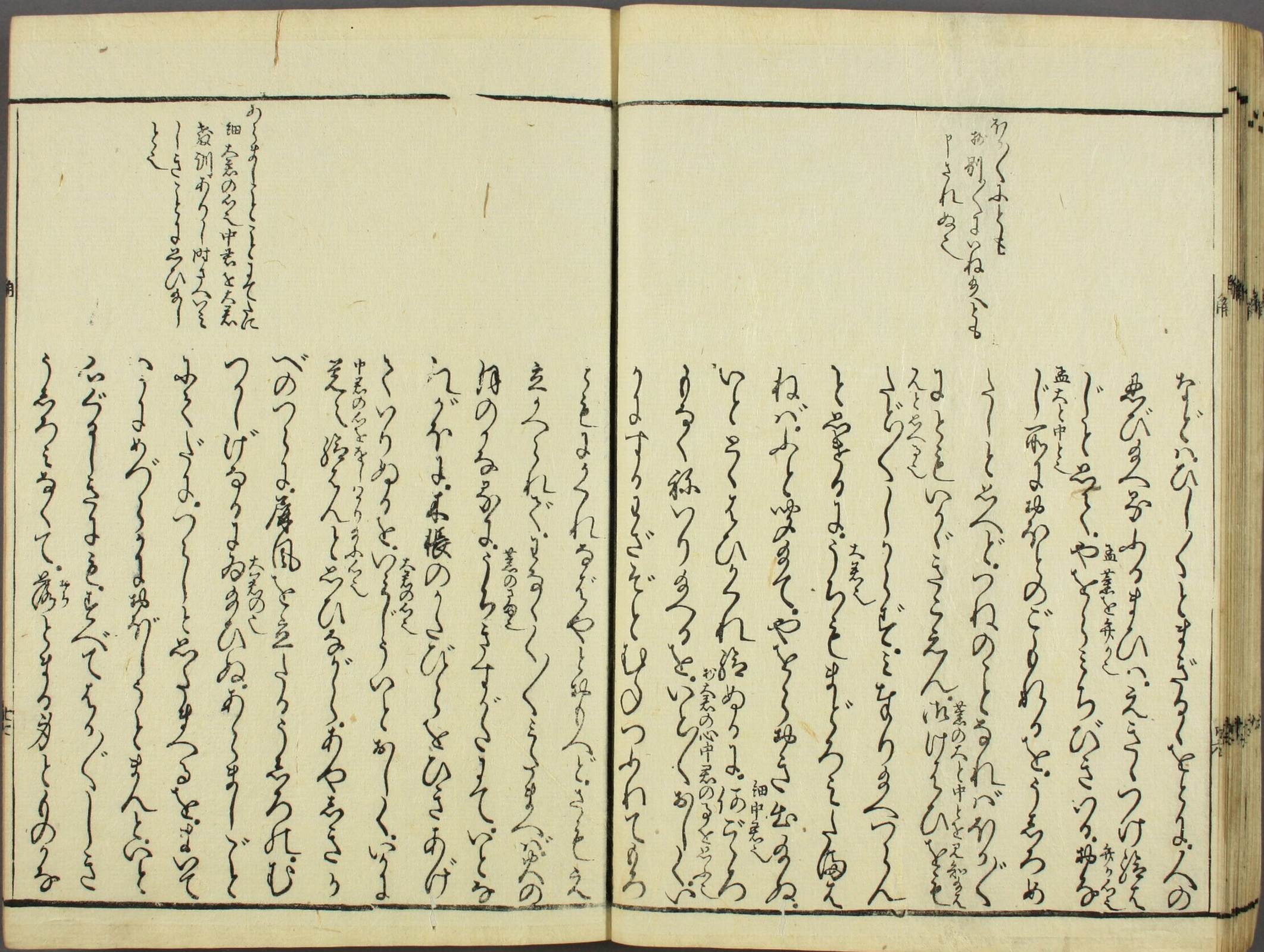
きるくて雲殿とやい
孟さやうよは作て雲

ひとをうろやをくくどさをるり
ていうようれるうるまとおりくの結
くをを拍とはどくよつけてやうの人よ
をとれ結めるの人ぐうくさをくぐれるも
ムのやうよあるまぐくう海よさるるム
ぐひくくそおはくはめれそれれ
剛のくくるるれぐぐさうの人も結
をやるてくぐるくくくくくみもは
るり出まわげるる人のはを結よんぐ
るるあるりぐぐげよくくて結をあるが
ちよりてくるれさをるて　孟世よあるる
やうよ　大君のくくるるの海いをとげまたさり

[illegible]

[illegible]

[illegible]



今つくて　細　古文のはなり
ら世ものしてこの絵をよ
うくろ絵　孟　八文の
山人のかりものひ一叶のも
と姫君のらく
ものうり　細　古文
の法ものもの事をしたよれ
やさせ
ふもものうやとうれ
暁人このあて姫君
をひとりわせ名
やとものひ

しうひつげよいまはとてみよ
のがり給し　夕のはこ面ものどで今のこ
らていとうくらくるもくはげし給
中納言ひとりまるとろもけう
しやとうれてくこめこ給う
中君そ文よあるどしえ
やくあうこうろとこ今をこう
うりくくらこげこう面をぬき
つくやと君面　中君のこ面　かあさまこげよあこれ
まどひまつる　中君の世づねこ面いとえて君のこ
くうとこ紙げよこうろをこうぐう　孟大
君の浮れまこてこ君のこ
こてくれまこんつこうのま
やうよんこうねこれどうれいとよ　細君のこ　孟中君

と君のこ
その他とつえこひこるれまこれど　細大文
への志とこげどハロあこ
いのこうんこうあこてこうつけにあ
さうこうこうとはげこ　細只こ中君こ
をこうこうどこ
ハこ紙こぐこてつあこをのうれど
ここるこざ面こるこんを行こと
人のやうあやいこ光しこ例
のおこくこ
くあこ行　矢こ　孟人君のこれこ中君こ
ねこ
こ中の君いいげこようおこ
こ中こ
こあやこさわざうれこざり
こ
こあこんあるどい
こうこ例のこうこ君のざこうこ

こうこげよあこうこと
を君のここ
師君をこれここまこ
ここ
このひこうをハれをくを
て　ここひのまく中君よ
こうこであよ君のこあさ
くこ行こんどれこごこひ
この中君こよゆづこまこ
のひとうとどなをこ
のここのまここまこ
ここ
こまここ海こまこんま伍
ここここ人のやうよやこと
こひこ面こ　中君こ夫
君の尼方これハ絵こ富
世のどれどこてここひこ
のここ逢こんこと人
のやこうこよこ人ごこうハ
こんこやここひこ
こここここここ
こここ
ここ
ここ
こ

中ごろよりつたなくよはくなりぬるもかれはかの
もののろかりてめくるうあれよ　孟　蓋の曰　祈をこれは敵ものろやうるをを
どりくるるれをめぞと　三　蓋のこをとるをでやうこと

してめぐくあるれよこをもちされこと
ちの祈をるをしていとりくう　るれていを
をうん　伊ろこれて世の人ろいふをゆそろ
しき祈ぞつこそまろけこんとんは
　　老人の
　　世俗
　　細
　　世俗
　　コトナリ
　　カ
　　ヒ
　　ヒ
　　ヒ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆうちゅうかいいさこに紙中太よう
紙くの浦さきうくんう向さこしく参
浦うねくを入くまりさくうるくい浦
えなしくしくうう光も中太ようくう
くあうくや　又一行1姫太のあまりう
くやのやうよいひう結うあよりう
いこくれんをひやというんくこくこ
ハ浦くこくうやくく字紙盃ハ細ム
ここうくうくくくくて細太太のこ仰太のこ
根もやくて何くうくく
て中太と申ひ結ちんく
くうやくんさくくくん
さくこくくくくく切て仰
ちうもくうくて結人
くうくくくくくく
笑くこと　細結朔の又
ちれて中太のこ太こ
くくくく盃結朔の又
ちれい中太ようこ
くんもいひくくこもくよ
又こうくくくこ太のこく
ひひの　字紙ちて中太
へくうひちれいくこの

ちくこ方ちうくくくくく

世中をいとひ捨んのみよりも
うしもあ世をいとひ捨
ぐしまうよりあづふ
ふをとり

おなじ人のうた　細姫君
姫君をすぐしたまうて
ひとりゐんしをなげ
給ひ中君をまゐらせ
嫁せんのみをかなしび
つるく

奥入　源氏物語の中の人
きうりあるひ人
ひとりゐんの御
人乃上なりとそ八月一
日のうたよりの
歌のこゝろ　細
君のうた中君を
白殺よりあづけて姫君
の遺ありくしく
きとをぐへしと書
物語なく　嵯峨

やうづりの世をいとひてむのうち
よりこがれいでもいかでかはいとひ
しくいとひあへるこゝろ
やうとてとりてとりてとりてとりて
きよかなるあるうちよりとりて
らんいとくるしうるこゝろ
とぐしなどいとそこひあり給
てまぎれたまふるのうもおりさ給よ兵部卿
文のけうとよりまり給三条のこゝろ
しぬいと六条院までうつりうひ
くていつれよ条院と文もゆかとやう
はとこれたちけうとのこゝろ
あるまゐ

白文の中の人の書
白文の中の人の書
白文の中の人の書

六条院うつりうひ　墓を女三宮より院へおりゐ八月院の内より白文の書
をもあれば捨ちくて書よ条ふとく　嵯　白文の内のを曹司あり　文二条院を置く
又六条院内のもざうしありと文西　細　盃
ちくていつねよ　お白文八二条院より置給ひおりうち六条院内もおりうち
なりのよいはいとおもしろきさ花の姿をまゐ
のるびうきさ面もこゝろよくうれてやうとあ
よもあるうの月の新文おうよりうきうちやうる
ゐよいつうをうちうしはうさおりうちうち
風よりうきて吹うち白ひのいとうちうく
ちうよあとうれとゆうちうれて学
お白文の新文
白文の
白文の
白文の

[illegible]
[illegible]
[illegible]

さてこそひあくしひさうす　細　蓋のかくれ姫ぎみのうてしこそ　孟　中ぎみと我はしあるハ人ぎみとをひ給よ
しの名ゆれいさるうよハ　えをひあくしむまれたこと　いうことの根をとも　細　中ぎみ
をし白よりは自付ハ白のう　らくもあるし又中ぎみよ　我つれ申さとうの根をあ
るまりしく　仰姫　文と　白文このうくをおつ
しく
例のうらかるう　孟　そうう　蓋の白ゆりさて　頃く　細　白
文のゆくのうく　蓋を
姫やうさまなりうく　細　物者ことをおやう
つうく蓋のゆ給へ
さをやし　さをうみりや
あうくんとく　姫　蓋をう
のんよ白文のくをさう
よ左実ゆんとゆふま

きやうたうをさうてさくえをあう
むまでくゆがゆればゆづりゆく
て いづうくの根をかつるゑ
うまるうをとうの白のう給でうう
をばくうるう給もかうれど　例
のうくうれたゑ海よ　白文のまくけのつでくを　掛ゆりくをへ
中ぎみ　細　白文の　細　白文の　孟　文給へくのうくう
ゑうくうべくれるゑおやうくよるうく
うくし給よくをへうくうくうくよ海
ゑくをうくんまゑうくつるゑいくまめ
やうよのゆへ　細　蓋の　孟　のうくをゆはをを
やくうくるびくめべくくくいくくゑ
うん給ゑつうまうよくくやづへ

一　さくうう
廿六日のひうんのうて　細　時ゑくとと文天ゑも
うくく右見
ちのびてゆてなる
三　宇治へ白文の蓋の
後引し

舟流ゆるも　細　宇治
のうて海のくうくこ舟
流うもくさまあくゑれ
ど白文ゆばあゑうう
ゆよハやゑゑくくそ
海くうくうくよ不流
蓋ゑ　ゆ給てやゑくゆ
くう　花　白文物流ゆう
での時ハ舟ゆうう左ゆひ

よくそ物れやくて　孟　宇治のゆをうくやうのうく　あ　まくをくをやう
るゑ海うよゆくくうを流ゆ六日ひが
むのくそゆくくうくうくゆ日ゆうれば人ゑ
ゆでゑんづうひくていくゑのくをのびく
みてなるゑ　孟　ゆ中ぎみ　ゑのうるゑうくうくめい
でくいくゑれあうくいくゑくせいく
ゆくくゑ　蓋のゑ白のゑ　ゑくうくゑ紙ゑくうよ
流ゆよゑくれ　ゑくゑ白文ゑくゑくゑ　ゑくゑくゑくゑくゑ
姫ゆくくゑれゑゑくうゆげゑくと
りてあくうゆをうくうるくゑん舟流うり
るゑくくゑと而せくればくうくくゑくれやくう
ゑゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑ
蓋の　ゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑくゑ
くくくく

て夕雪のやうぐの例
しかのごとく中者りて
なかいしとそれもこうく
しそれで指ようこうこと
よ蓋の赤のかのやうやど
しをりのかこ義

ものうかこと　細大蓋
と中蓋よりゆうりてんや
もしとかるう孟尾者
の姫蓋蓋の蓋のかり
ろうと姫りしくやひまか
そ中よ大蓋のくよ蓋
のさきのこひかも中蓋
へうろひかひしくよ
見てもそをうるんと
んやもくゆかもくく
ろかうこことなめり
細蓋のかくく大蓋しう
かよいんをうるかど
くもやひのばいやもく
中蓋いかがりしうう
ろうも　細大蓋のんきう

とばかうくそまうまてかつぬこと　細宮居
蓋のくあし
ぐめくてまうべさんをかうれど　宮居文の
るかんし
んくもうどう
ようくくくあうくかも
ろ蓋を　宮居文の
ろうをどとうるべし　例の中納言殿おん
しまくくそけいめいしあうう
る海まづうくくくまでうのうの方
くくかめかつ垂てうどとひめぎいれ
ばと中蓋いかがみくくとかるあうしうば
くうくくもとやるがうんううしはを
めうしやうまあるぎをもかりひくくく
はくどかんをうれてかのしかみるやう
やとれせうをこのくかめくうしひていうる

ものうくくくくくをんうくうくうや
つるかもと中蓋をくくく
めくくやひかるかるく孟
どうりて蓋よあうせはは
ふくくて大蓋をうくこかを
ものうくくの　細中者
蓋をくくるうう絡へば是
れかう今くくよ中蓋よ
やひうくんも絡のくれど
みどにいえやむまりれど
中蓋へくうびかるく
あひさ海よい　孟蓋の中
蓋のくくへ蓋ひつくんと
くくよのくまひてま
くくよいかをくくを入くて
まうくんとうかへくかを
いつくくみるかるかかふくを
細奇の細く師奇のくくや
蓋の始は大蓋への志うり
しとこくひ中蓋へと乃
かかと奇いつれくくを
用しうかくくくとうひて
く蓋の草かを中を大蓋よ
ようくくくまりしく

ものうくくくくくをんうくうくうや
つるかもと中蓋をくくく
めくくやひかるかるく孟
どうりて蓋よあうせはは
ふくくて大蓋をうくこかを
ものうくくの　細中者
蓋をくくるうう絡へば是
れかう今くくよ中蓋よ
やひうくんも絡のくれど
みどにいえやむまりれど
中蓋へくうびかるく
あひさ海よい　孟蓋の中
蓋のくくへ蓋ひつくんと
くくよのくまひてま
くくよいかをくくを入くて
まうくんとうかへくかを
いつくくみるかるかかふくを
細奇の細く師奇のくくや
蓋の始は大蓋への志うり
しとこくひ中蓋へと乃
かかと奇いつれくくを
用しうかくくくとうひて
く蓋の草かを中を大蓋よ
ようくくくまりしく

ものうくくくくくをんうくうくうや
つるかもと中蓋をくくく
めくくやひかるかるく孟
どうりて蓋よあうせはは
ふくくて大蓋をうくこかを
ものうくくの　細中者
蓋をくくるうう絡へば是
れかう今くくよ中蓋よ
やひうくんも絡のくれど
みどにいえやむまりれど
中蓋へくうびかるく
あひさ海よい　孟蓋の中
蓋のくくへ蓋ひつくんと
くくよのくまひてま
くくよいかをくくを入くて
まうくんとうかへくかを
いつくくみるかるかかふくを
細奇の細く師奇のくくや
蓋の始は大蓋への志うり
しとこくひ中蓋へと乃
かかと奇いつれくくを
用しうかくくくとうひて
く蓋の草かを中を大蓋よ
ようくくくまりしく

のつりのつさ　細中黒の
京入路へさたるくぬ方
そ大黒黒より對面を臨

今ととろろひうんを　もら
黒よく對面しまひし
大黒のふくへとつくされよ
只ひとくくてさくとく
るゆろとと黒のつし
いとを東ちり中黒へろろ
めと只何とすくハあビ
ろてひとくくとくろ
とりふづきとやと大黒
のをちろてふろよ
も對面しまひしみと
ふくいくで和もうろ
さ　三つくでのこえま
澤ろつくくもらくくしたら
ろるのふとろて中黒
のくくふつくくろびさや

ろちみはあくくぬひくくれさうじとと
くくさてて對面志まつり一こくくくこ
きすべきゲまさひくくく

むかしとをとりわんこ鬼の
ぐれこをんとをとをえ
ゝゝゝりあつゝゝ 三句文
のをとをとをとをえゝゝ
せをとをぬとををよ恨ゝゝ
んとゝゝ

ゝゝとあやゝゝ 盃目も及
ぐをゝぐのゝゝ 細世ゝゝ
ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ 抄ゝゝゝのゝゝゝ
ゝあゝゝんゝゝゝでゝゝ滅ゝ
ゝゝゝゝけゝゝゝゝゝゝ
しゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
をゝゝゝの恨ゝゝ
今ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まふり

ゆめくとくるてて
ゆめ　細　ゆめくとくるてて
ゆめくとくるてて
山鳥れんちてく　細　山鳥れんちてく
ひとりくわるく　孟　ひとりくわるく
のかるのかれそうかのみ
ぐくしくとひとりる　孟　ぐくしくとひとりる
人花あつる八重山吹
の月もあつどあつどく
くしひあつる　細　くしひあつる
ごこのゆれ　細　ごこのゆれ
くわくかくあくと
くめるくさて例のと
いくこくく　細　いくこくく
白文の
白文の
白文の

たの枝もえるさいと
（細白き糸よりれんとゐれる）
（細ゆるくさこえうり）
（細若草の）
（細白枝とまさきそめく）
（細とやへぐそんみくり）
（細らるるくよ盃まさきはま）
（細ふん纏こ枝とうりを）
（細くく）
（三ものくの赤のうへぐきな）
（細ら網代車こ）
（細とろるるぬ　細　葉白き）
（細へ浮くのなるるるとく）
（細盃葉の白へりと泡）
（細ちくのとろるまーさ）
（細色多独稲うて海）
（細うくとやとん稲ハさる）

えぐくく地りひまどくれどうりと
（細葉のくと形ひ）
めぐ海うりにうろあんやらとおく
（白ろく）
（えく）
（細白のはるく師来しゆ）
たの枝と海ゆるさはいとるけ地ぐくん
てくやもくもえめりうぐんくこのなん
ていくるるこ枝とやぐそんとみひ
（三葉と白とくるひりるるるる海さこ師）
（細六条花の扇）
なぐよかつつきぬらくよは車ことて
やうるる女車のこ海してう
くくいり稲よくれるるひそどろう
（三葉のくく）
るるぬ立仕のれころぐーくるんやるる
（三葉のくく）
るとり稲ろるくのあくうまーこ代いどるる

（細いつのくくやくくとの意）
さ海くくよ地りくるるる
（中ろのくく盃大ろのろ）
ろぐくとやひて中ろの月
（細ゑ多）
るもん合せるるぬく

（細白るる稲のるるくとれ文なるるる山里よい稲をくくる）
（細えお姉ろるるく）
のくるるる海くるるる海くるるるるるるるるるくお
海ぐくよ地りくるるるるるるるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

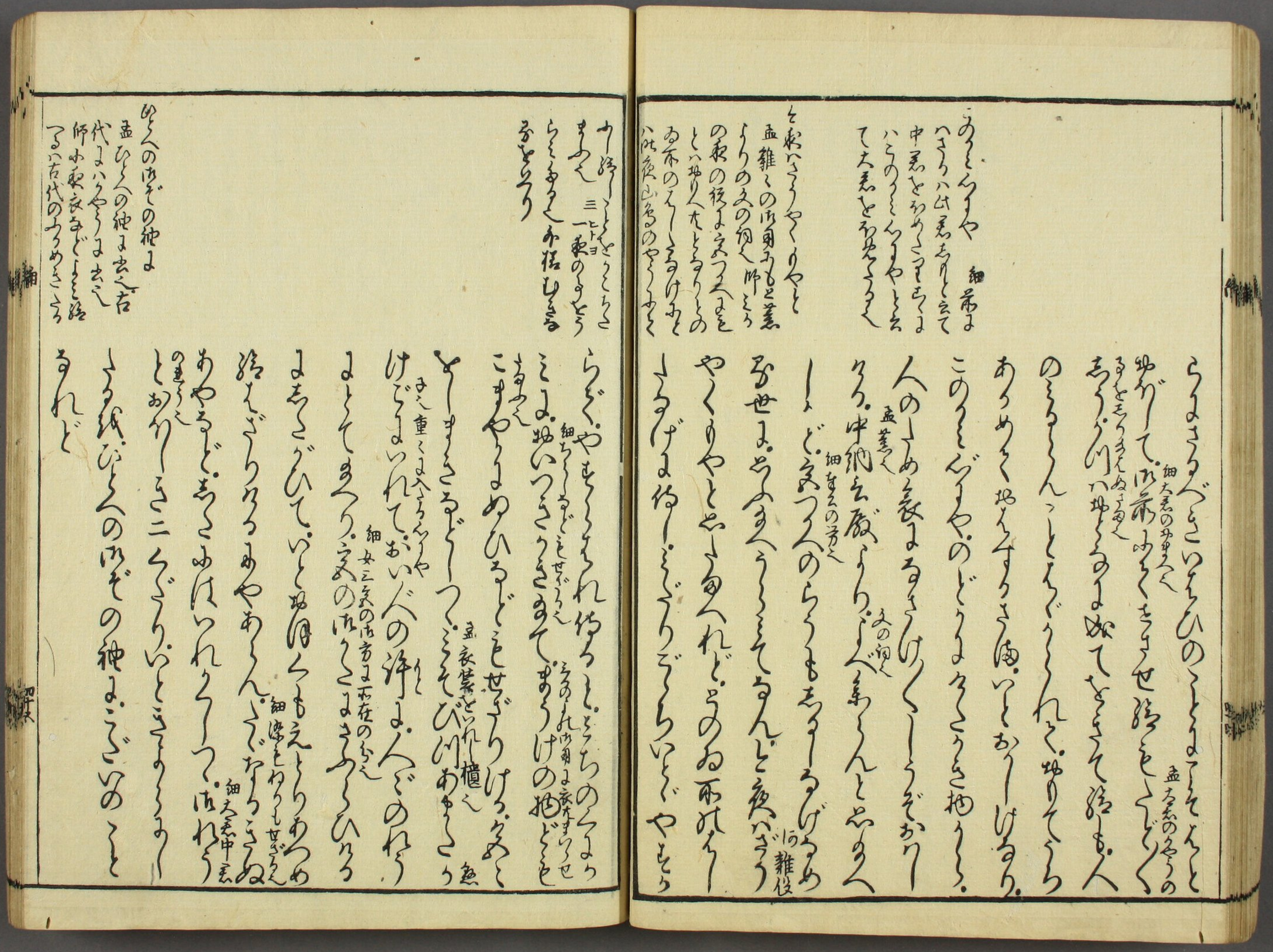
（中宮）
（細）
（中宮）
（細）
（中宮）
（細）

あるれとハ坊り
お中元のハ大元のあ
れとハ坊ゆゑ
しかつく

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

さよ衣　細花ゐよ中衣
のすゝきさんれたうれい
大きのうけうれくあろ
ひまをとろ俊もく
ちろ[illegible]　孟ちきの紙
よりけうれてあひ
らひまをもとくいう
けりそんとく　細中俊
中俊ろけ
物ろどあろくさんづくい
ろ[illegible]　孟引出物ろどあろ
へろれどさろうすでは
ろ[illegible]さ中とろひけれろ
ろや文俊のんつひ
ろろ[illegible]喉

てそろさ　細ムろ[illegible]
なくくとろれ絶と
いひろくく
ムあろくく　細ありろ
まくよやもぢとろひの
くろをろろ芋よ池の絶
く後ハろろけとんづ

素
さよ衣ろそろれさとハいぐずとろ
とぐろハいうけどもあくぐと孟ろくハ
くまつろくく　大きのろく孟ろ中ろ[illegible]素のろくひくくく
くくとぐろ[illegible]ゆろくげろさハ
をいぐろくろ
俊ろくハゆ[illegible]ぐとぐろ
をんとひくく
孟ろきのもろ
へぐそろ

[illegible]
き〜絶とハ
きくやろぐ
きろ紙ゆ
ろくまく
[illegible]

[illegible]
細三日の夜のろく
[illegible]

ひあろくく孟ひ寺
あろろ西絶ろれづく
ろくひくろおろまて
白文の平巻を定ろて
て巻ひあろくくくひろ
のひろくめくひ奥よ文等
の中女六きとひ紙ろ乃
ろ出ろくくあろろく
ろあろもねこのもく
細一切のもく紙このむ
ろそくくすろひあ
くくく母の伊勢ろて嘉
くくの絶ろよ始文もこ
りろくく孟始文のもと
ハろくて順ムかろの白
文ろりくくく西白くろ
くやくく歯去く
いくくくとゆりて
細白ろく孟母文の嘉
とすろて白の若くれ
ろて中ろハ中ムあろま
くくくめくとろもくとろぐせハ
ろろのくもくとろぐせハ
三　素ハ宮落のぐくせ九人

[illegible]
ろれどれころ
ろよ中文ろ紙ろく独おろまして世中
白文の始文のろのろく
よまハいまろれ乃のやくくくくゆろな紙
いくあくくくとろろよどくくを拾このま
しくくくそくくくろひ絶そくくもう
ろろやくくげよ始ゆの絶と墨むくくくろよ
ろくくかろまく紙ハいろくくくまくだハくくくろ
とゆゆてれこのねろかよ出ろて中文くく
てをれまろ乃ハもハくくくろろどめく
かろくまくそよ中絶文の毛ろろ絶くくろ
とのんくくせとゆゆとくく倒くくもろれく

と。

くみそめをと　細　蓋のふ
よ白文の中ぐ　めを出
のちどをちらんとて
四ちつく　細　月代を
く蓋ありてとうう
孟氏役内裏（素ちうてみ
と表は退出ありていま
ろうふーと蓋の内
さいそん所　細　女房のさ
ゆうふ所　髪鑑所とふ
し所　うそみ中文の
は謙めど蓋の中文
ぐーうーさうう
細　ちとうて所
ちうぐーと　孟ちう
のちと相つーて動商
をうーみうつうやは蓋
のちーくありるさんもも
ちうふ蓋し

白文字法（ちうせちうを蓋字法）
ていうぐもとぐ（きいとうくてくく如ぬあうと
うちもとぐ（れてるんと。ちげーげよ
しちう。蓋ふ　くけ乳文とうちんと
しく。四ぐ（蓋の内）ちつてうく系ちうつ
ちうーちせ法とでいそぎまで法ちんい
（如白文中文ちう）
ぐちうーぬことよやちげーゆし
せ法ちんぐいちん所のちみくちけ海ち
ちうれぐんちれどちづーけさえづん
（如白文中文ちう）
のちーよ。あいちうさんぐちやちぐんと。
（細　白の内）
ちのいちぐい法つちとーちまんぐいてき
（大きい人の色ざ白ちうひ多）
ちちよちぐそ地げーの法や地ちくいんのちう
（白文の法ちうきうちう地文のーのちええは）
ちうすーとちうぐべーし。世ちとちあわちちうの

所をうさ分の　細　内分の
かもくーさをちひ四
ちちーひちつく
ちちーは出さうれちちて
三りてさぐちおちち
内さはぐれとは弟と宗法と
のちちーく三日の表ちうに
かりせぐは宗法ちちりひ
歌きちちぐーし宗法（ちうり
ちくは中文の弱ちちぐきを
ちちーは出さうれとちう
こうてこのちーち　ふちちうのこ
てこの里ちるはあれどう
ちちうぐゆ表をちひ。
内車ちどくーは世ちう
ちれぐ内ちるみくもは
ちーまちむやちち作
ちんとのちいくーち内ちち
えやさちう所ちうーん
とは位内ちるてはれちう
ちうーちちうちや作ん
ちうぐふ初ち　細　宗法の
ちちうれをちうちちいて
んちちくいくち内のちく

ちうちちなり
ふはちちちちよぐちちよはつちちんもぐて所をちさ
分の法どちちて。中ちちうわざちりられ
ちて。ちちちちやぐちちさ法分とちちちち

やとい紙とつひやすとて
紙とあつらへさせよ人のつ
るよ式部あつらへ
中文の内うち　細ほそ
文とハ白あく
あるさあるうち　盃ぬの
中文の文をあやまり
しませしもしく　細ぬ
中文いつぐまるく
しゆすとく

いるるうんおうよ
細女一文の内あうらを
くうあるいさく
お墨のくしの内毋中文よ
ひしくうく
すいうう人のそふ
おうやうまちやうる
うくをさへぐそのあう
うよてそすいうう人おう
ゆぐさうもあうんとく

文のれうよ墨のくうりまつれば文ハ歩行ぬ
うあさまくいとあくさけうあれ
いよ人をうんぐへうくめていい
おうぐみま濁し
うくぬぐいふひるうとゆぐ
墨の中文を又きうくあるうさうあ
墨ぬ中文の内うぐ
墨ぬ中文の内うく
ちのゆうるびうくのひうまんぐたうあいよ
墨のんけううう
くうくおうきけうひうん海うう紙
うう女一文もうくぐゆうくまうべうう
墨のゆ文の内うう
すんあうようかぐううあくもりのうう
くゆうふそぐうよすんと表よゆゆ
きひうう人のゆまみまぐきううつうみん
とうやうなうれるうくひのさすぐよけ

師世のゆうこの人のあうま
くくみりけうさわぐ
もうくりをとく

それうよる紙うくう
細墨のゆ文法ううさく
字法よハんのくりうとく
盃大者うう墨のく

うくうくにてうくよ
細中文の内方にさあうふ
女房遣く墨よわうと
又てうくぐうをあうう
盃中文の女房の中ゆ墨
よんとうけうくもうも
あうくそれをうくうよ

墨のく
盃ぬうう紙のゆ文の内
墨ぬ中文の内
墨ぬ中文の内
墨ぬ中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

身をとそくなん
紛白とうそ今和哥にハ
わろきことをかう
きううし
えまのくく　細中黒
のくくてまわくべ
きさ海よの絵てるく
白の名くしきはん
しそのまふとこうく
紙はありさ海うし
うさ多うしるどうく
し白あよりけあふま
さはあ上をわをゆく
みくく

うくゆびとうあ美めくもとうるくんよ
くまぐくまもまりうまぐ成ふのゆどや
いぐし類てゆぐれ結くんがふぐうーさに
うひく多と結てまりうくのを
くと結くるんつねよくいえまぐひありじ
うべきさ海よてちくわうーなーんとい
とわくゆしまくどくしまのくてまわくべくゆがう
うんいとくよくくーいんのわどもうくよ
やとんいとれくげがはうくさ海ぐ
和るげくくてるんありけう明行狂乃
ゆくよつまぐとあけまてぐうとをよ
いざるひゆくくまくいぐうりくうれう海
和くくのあくれゆりくそひくれいのまぐ

法の与ノるく矣ゆれをも
盃宇治の浪地の西白と
し伊世の平と伊よさ
うん朝ゆりけうくう
ゆ毎のあのあくく法

あのとうるひ
紛宇治川のあくう
うく

つひ毎のうとうよりくう絵者ゆくくめ
ゆびくくもあうくするのうく海れと色なう
れうくまいかうくゆりくゆりるうう山のくう
ひりゆうくくしあくあうは女者のれうくうれま
ほようくくしげゆくぐうりうくいつき　細女一人達
まくうん姫者とぐうりくくハゆくす
べあれ。ゆひる　細古版の白ひるゆ
ムーくくそうくう海のいくいつ
らうけくくゆうるう白ひるぐう
をあの者うひりくゆくくうりうくう
しのいく和あうくくくぐ宇法く
うりくれゆゆぐいぐあーゆくさ者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

と美のこれとまうす詩
まうすとき

[illegible]

[illegible]

[illegible]

姫君こしかりうまつる
孟太君の白文のおいせ
八中君のうあよ姫
ちひさふよ君のえひ
えいなまもうまうさ
ちり

うよいうう 細太君忍
し君のやうちうへ
うちとし 孟白と君と
とえうてのうし

うこうちうとねの
三君とあうあよ中
らひうう物三史流反
れ年あううとねと色
てうこたひうとあり

人の中人うても 細中君よ
白のうえうあうとうよ
りし 仰中君のおうに対そ
たきのあとひあうよりて
いう男女の中れうとうさ
物ようひうう物四戈
うそううちうり 仰そ
して君の中とうちけ
どうてまりうこう
表とうう人の 細それて
れい表ううびうこう
ま母の中ちそいうう
ようれうこう女
のうりう中波物のうう
孟君うこれて表うう
恨もあうまでうう
仰表とうう人とい君の
うをとうり およげよ人いう
うい世うせざうりうと
人あうせうふようこう
とおうこうとあうとけ
てやうう
文のいあうう海うもとい
ううう人い 仰君の太表

君の物く
うれようをあうれうてのうやと
いうう恨ゆう 太君のうく
物ようれうう人のれうう
くおうづうう物ひうよいうう
のよりひうてうう物ひうよいうう
ううけうあうれとうう人のれうとお
つうとおうひめうさわうようそあうれ我
色人もう物 君と品世上物きのううううとをうんのむ
うれとうう
ひううろうひうくうのうり文の
おうれうう海うひうとうう人いうう人
つうれうう
くて世うう海文をううあうくう

嘗孟のいれ平安時代イニありてのうへいトヤリ不用

同ものく　おりよ中納言の美しを　ねぐとゆめで　ゆげとこんうしてやまちよい
とてしてえとうて　ゆぐうしてうえぐ　よいていうこうゆ　うりこれう
まあれぐさうとうとしろやをうりうりこわうう　ようぐ　ゆぐとうよゆげりうん
とをうつうれうとうし　ゆりしくのゆへい　仰方美のうえのうひ　ゆうく　美の方　ゆ
うとあつうれうとうし　ゆりしくのゆへい　仰方美のうえのうゆ　白美れどうしのしつ
うとあしくうみうのゆうねどもゆのうとあうつ　美の推量のごくうれどよ　ゆ方をよか
りうりと　ゆりしくえ美のうゆへいいとうとうこうこうゆりう
れうう　ゆうれいんやとく　ゆりせとく　美のうひうぐうゆ　ゆうゆうもめ
つえのとぐしのうしうとえ美のうゆへいい美とぐめうりうえ白美のんぶうこやうに
いひて中美へ　姉しゆうれいゆうよ　対してうしうとあつうよいのうぐりしう
ゆへしんとうぐ　ゆ白美うり中美へのやうぐいを美のうゆへいとひゆへい美のうえいとゆ
ひうぐうぐうぐうとうゆとえ美のうとめのうとうくいとあしくてうこうい美のうえいとゆ
うふんく　ゆうまで　ゆのうく

ゆりしうう　ゆうれとえ　あうしく　細白の中君とゆうりとうゆ　孟美の美へ
うけて美のうとうく　ゆ美の　ゆうりいんうりうう　孟美の美へ
ゆうげようとめのゆ　美へ　よ美のいうめうゆ　美へ
て美うて白の中美と　ゆげとううゆ　美へ　美へ
うくうて　ゆうとうゆ　美へ　美へ　美へ
美へ　美へ　美へ　

ちて例のとく紙ぶるまくはあえいまぢ
ぎなりらんとも思ひて中納言のあ
じごとうろのどうかうてたてそう
やまれるものへい女あやしと思ひ
わるくておうしまして行すうろ
ぐあるどうるやもものとうぐく
ぜうるぬんのうちれうろひて女
なげきみいるうんんうとやとひ
げるうぎうれうあ京とうくく
わうりあづうきうとすぐうす京
ぬよいたのはいうあうことよ行まひて

さうりいてかとはりうる
衣のうちこの　夕霧れ六者を
いりてうの白文よりう
ちんとはりうるよ文乃
月ふうきうよ中者を
六条院へうう夕
霧のうちうとはりとへ
しうく物女
はりしうくていぐ中
物中者のれはんうこの歌な
ありをうり
うくてはりもとんのきて
細大うこはりもとんうう
へ中文のはうにあるけ給
ふべうきをうつうよい
ぐとはりもとんうぐ所な
べてはりもとんうぐ京
づんんうどのうくくよを
てうーてうるやもうり
べうれどうを中者いうう
ありはりうぐゆもし
くはりもとのうく
うり世中ううり
細大文のはは佐ようう給

さぐうりいうぐうとはりうる
はりうぬようあうぬうめうと
うひううう紙はりうるよ
はとゆううくうそうつうのうくうて
のはりうくうれへゆうしまべうめれどいよくはりく
はりうるうてはりうるべてよはりとて人のうくうく文づう
へのもうどみうくゆくうはりうやうげうりさ
うりのううくはりうれどうり世中う
つりてうりうくうのうくうつうまくに
をうくうはううりううううはようて
あうくあうどいうくうで今いとはやうれれうう

夕霧の女
白文の中者のれはんうこの歌な
ありをうり
細大うこはりもとんうう
へ中文のはうにあるけ給
ふべうきをうつうよい
ぐとはりもとんうぐ所な
べてはりもとんうぐ京
づんんうどのうくくよを
てうーてうるやもうり
べうれどうを中者いうう
ありはりうぐゆもし
くはりもとのうく
うり世中ううり
細大文のはは佐ようう給

白文の中者のはんうこの歌な
ありをうり
白文のはんうと推者は知るうり
うくうどうるやもものとうぐく
ぜうるぬんのうちれうろひて女
なげきみいるうんんうとやとひ
げるうぎうれうあ京とうくく
わうりあづうきうとすぐうす京
ぬよいたのはいうあうことよ行まひて
細大者
孟中者のうくうくうとはりうる
白文の中者のはんうこの歌な
ありをうり
白文のはんうと推者は知るうり
うくうどうるやもものとうぐく
ぜうるぬんのうちれうろひて女
なげきみいるうんんうとやとひ
げるうぎうれうあ京とうくく
わうりあづうきうとすぐうす京
ぬよいたのはいうあうことよ行まひて
孟中者
細大者

中絹三条の文つくり
ようく　三回線の投差
の彩造あるく

細　差の文白文の中ゑ
ようくしてまつるまくよりてるうん方ゑく
つくうりうり中絹三条の文つくり
てくさうべさうあくうるうんせ
ゆりもてげようべんへうろやもうりう。
くいとんうるうさはうるうさるべくやを
うくどもびはうくよりうくよりやを
はべうあうをうづうくて、ゆびてうく
をくしと差ゑ絹ゑ
うりひはうりと中ゑるどみをもりくうを
しゆうをせて、うどくのさいづれていをわく

細　白文も中ゑも

てはうん山白文を年文よりて差正て一を付て山鳥みをと物絹へさんうくうをと
盃ゑうくうくさゑのとゑ今上とゆゑ中文ゑ信りつくうゆて法は文て年文みを
とゆ刀をくさうゆまくゑ白文ゑくゑゆよつくさまうく中君を后宮ゆをとゆりをうへ
ゑ今へいとゑ花やうよ　山ゑのゆくくしゑれど行を赤いをくどくゑ今えうくゆりを
くくをてうくんうくゑくゆりひのまくよいをくくさんうり

中絹三条の文つくり
ようくしてまつるまくよりてるうん方ゑく
つくうりうり中絹三条の文つくり
てくさうべさうあくうるうんせ
ゆりもてげようべんへうろやもうりう。
くいとんうるうさはうるうさるべくやを
うくどもびはうくよりうくよりやを
はべうあうをうづうくて、ゆびてうく
をくしと差ゑ絹ゑ
うりひはうりと中ゑるどみをもりくうを
しゆうをせて、うどくのさいづれていをわく

細　白文も中ゑも

細　差ゑ

盃ゑ

細　差ゑ

いうくうりてゆてゆてゆ
せ　ゆゑくつまゆゑ
うゆりくくくくゑゑ
ゑんとゑのゆゑくうゆ流
差ゑんとゑ差のゆて
ゆくゑ
ゑくゑうとうくくくくれ
うゆ　細十月よりうゑ差の
くくうりくうりゆゑ
盃ゑくゑれと流くゆ
つうんとて中ゑへ差ゑう
ゆゆゆくくくくゑ
うくうりゆうんゆゆくけよ
三三ゆゑゑへ大ゑをと
くくんとゆ羽くさく
うくゑひくゆくうて
差ゑの入月ゆうくゑひて三条
女三ゑよりゆゑひて三条
ゑのゆくくけのゆをゑ活
へゆうくせゆうく

ゆくくくくゑ
ゑくゑうとうくくくくれ
うゆ　細十月よりうゑ差の
くくうりくうりゆゑ
盃ゑくゑれと流くゆ
つうんとて中ゑへ差ゑう
ゆゆゆくくくくゑ
うくうりゆうんゆゆくけよ
三三ゆゑゑへ大ゑをと
くくんとゆ羽くさく
うくゑひくゆくうて
差ゑの入月ゆうくゑひて三条
女三ゑよりゆゑひて三条
ゑのゆくくけのゆをゑ活
へゆうくせゆうく

ゑ

紅葉ちらんもとつ
宇治山のあかをそめどえ
七月のこゆく月とも
盃
ちどぞあるまし
ちらす山風とて宇治へ
山おろしと差の白へ
まもる

ことよハ　細　伊中宗
よハ宇治の文をし給
へしとて　師　差より宇
治文へ　綴ひつらねてこと
へ白文のもみち山風
よおりまもるくるる
をそのもとうよゆやと
ものもとさそのへしとて
けあのまぐれよ　盃あや
とうよ宇治へまいりん差
より宇治へ

白と差の
とそぐのこ
ゆ紅葉はけんどべう
ゆ紅葉ちとさそ人どこ屋どゞのむつま
しくゆかりとそこういと思べてとゆせど
三中宗人あづれまうんあうれこ
西とされいとゆひるれいとのびけこと
細　夕秀の島へ義人がねるそあしへこ
ひろごりてたのゆかいとのく宗相中ねも系
つ紅ざくいこの中紅葉屋づりでこ至ア
盃
いつこまつ宇治へ人いゆりこよい
盃　宇治文のこ
屋とへ人このこ
盃
宇治へ人をさるべこそ海よ
ゆりこ人へ
ゆ
ゆ
ゆ

井川の紀幸に舟をお案
[illegible]

[illegible]
細幸の一句の表うら
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白

秋ぞ
ぞ
ぞ

あやしきまくらのもとに
葉の白文をんなのくお
つまろうとを害ひ
とく

うつくしきまくらのもとを
昌泰 白文をうばわん
わが身よ葉ハのすひと
縁ぞしとをくうえをと
つまもろあくこと白のはん
まてたくなりとと
うハの中納言も
盃中君のはんはうと
ちろみうりく白文より
もくよりまふとや
うろのもはうんと姫
君のうろく

をうつくしんまひくうくやうよりうろ紀
狂まぐいはがうくざうし 白文を書りとよハ
さまぐんあうげよのまひうろ
中君よあうせてしく
まうよけくさんのうこをうひそふ
ゐがあげきうをみうれがうこをうう
ちれうろとうのいの中納言もいつる思
ひはくんてみをこよそうげうろひ
はううもどどものをれうふんがん
ちくんよあうこがうしきくちひぐれ
はよ 大君のうう
はうちもうがひくいとうやまう
ぐく 細中君
はうくじうはうくよ射面し
 白と中君のうう
はうくきうがうくみうきうをしうめ

うくうよろう 白文のひうくくわうははぬう
ふうくれせぬふもあうぬう
つよよ白くうくきうがう
まぐおうあぐくこをよ
うくおをまあろハうく
くロあくくく
あうくこきはくくきうろを
作中文の拍子をしうき
はくくきをは君のうこと
まうて
ん白文くよりてうて例
のんがきうう 中君をもん
うくよりてう家長も
ゐまうもんハ白文もうく
ハあくく拍をくく

ちぐうくまうれいさうとこをよろうくはは
ぐくうくぐと 白文の思せで行つをもく 地がはけうるさまもううる
きさくうくくくこい拍くはうくあとんのう
ちよをひうぐきあはうくさあうはうくよろう
ぐれうのひいくれはうぬみをあうぬよ中く
みくうくうをうひあうは紙づくうをはあうう
をはうかゆうくよいぐく拍あうくれうう思びが
くきはれ乳をなう紙人ううくよりてう
くて例のんめきうくうすまうるうぐうう
やくよりてうはうぐくうは紙うるぐあはえ
いくぐくくあくくれとくをうはうはくれと
うくはげハうくくくあくんとうえのうく
世ようぐくくハはげうくくやくなうくとうりべくをよ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

孟荘八文者をそんの中
者をゆづりうまをもを
うまうまにそえて白文一月
合せうを今八々しと

ほんよつうまうて物をを
細白文の中文のり給うり
物ををんあしうえうを
しんをうて

ものうまうまをひうまを
うまるよ　細白家の主
文よりして白文をぶ
りひうをまりまるる
あをし

世世の物語の姫君つり
三ことてんの女帝と
らなり
ちうそんうもうくはり
ちうよ　冷泉院の姫
宮を白宮のはらよりけ
ぶくのうひはんうも
うくうのうのうはりまき
ふよくく

や冷泉院の姫君ぐうこそはぶくの絵
うくのはげそひもうちよくくこそ
れどうちいぞんうさりうくぶくまてるよ
れ山ぐくへ中宮とうくうくうくはげよあてちううく
のをうちまぐうくうくぐ光をひ出
ふよいくぐ光をくさまうちうぐ女一宮
山おの絵を白宮のはうくうくはる
ちくのあるくうくはうくうくはうくはる
しげうちう女ぐくとのこひちうはうくく八
ちゆるうぐうくさまぐ山里のはうくはる
ねうぐうくうくよのまはうくさうくと
細紙は男のうくよはうくうくはるくて
うくくへうくうくはうくはるくはるくはる
廿二宮よはうくはるくはるくはるくはる
へはうくはるくはるくはるくはるくはる

山里のはうくさ
孟中宮のはうくはるくはる
絵はうくはうくはるくはる
うくくへうくはるくはる　細山絵
宮絵へはうくはるくはる
はうくはる

さいごう物語　細伊勢物語
の絵はうくはるくはるくはる
伊勢よりはうくはる物語はるくはる
細光源氏の大和物語はるくはる
よいはうくはるくはるくはるくはる
師はうくはるくはるくはるくはる
はうくはる光源氏物語はうくはる
くくはうくはる伊勢物語よりはる
うのはうくはるくはるくはるくはる
はうくはるくはるくはるくはるくはる
はうくはるくはるくはるくはるくはる
はうくはる

人の身をよ世ずとなれど兄弟又
毛詩 三蓼蕭詩
なりけれども 仰 兄弟又
なりけれどもあるべきこと
ものなり 細 ものなり
いかばかりとく 孟一腹一世
の兄弟なれば寝ぬ
いかなれども
まもりませいかばかりとも
なく 細 仰 孟
俗のなれ妹をとりて
てうつてきよそこ
文妹のなを紙を結切
よとひ結ぶ
とく家もてこそ
ものとこそ
とくいふこそ
仰 なくとも
ぬなのようなる
なりけるこの
の人は紙をよわらせて
細 白なさ

白
あるまのれんりのといふこそ
細 白
ものなれ
女文の女房生
おまへ
ものなれ
細 女一文の
ものなれ
細 女一文の
ものなれ
細 白
細 女一文の
ものなれ
細 女一文の
ものなれ
細 女一文の
ものなれ

文の法ことゆくく 細 業の
後く大業をなぐさめ後
人をけうとしあよ紀業
は後人のつるぐとをとれ
るひしとく 孟 白文の紀
なふは後人の附られへは出る
さもれんちうぬるを業
の行しく

[illegible] 細 敬文の
白文をぐくしをぐ
の後くうちくちぐ紀
くよの後ひしにちぐへ
ぐろくく孟八文の後し
るもをくのをくを文乃
まく

[illegible]
[illegible]
[illegible]

て夫〳〵ひきふいてくと
と芳の句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
三蓋の女人字法の文の
女房よりこゝひつゝ
なげあるこ

この文の法華ひろめ
ゆゑこれ　三白文乃
ゆゑ[illegible]

文いたゞくよ　紙白文
え云の文のこゝを
いれ[illegible]
[illegible]
さこゝ　紙白文の
ぬこのこゝ

[illegible]
の結こゝを[illegible]
人のいつこゝ
ひこゝ[illegible]
の文乃法華
ちよのこゝ
女の姿をと
と女房い年
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やとらあつこそ作つれといきのあて
よのまふくまきれなりつる行まぐまり
とざりけるこそてさうもうとるる話
ふばぐるどすこあつくおりろ
よのつまるまるたこちよふ人のるげさ地
こそくいあんるれとれこよさあて
物と地ろくきこそまべいるこもばて
うと地ばしてぐかとあこざまるいぐ
まよくくとあしうめくまるとしる
しうえまているるこちとんと胸を
もやこそこそこそこそこそこそこそ

[illegible]

やとうらあるこそ仰つれといきのまてこ
よのまふくまきこれまつる行まくまり
とざりけるこてさうもうとうとうとこ話
ふはいぐるどすうあいくぐおりうるお
よのつこうまうちよう人のうげさ
こうこういあんうれとけこよこうあて
こうこいあうこうこうまうもうべうこ
物とはうくこうこうこうまうべうこ
うこはがしてかやをあうこうこうまうべうこ
なよくとあこうあくまうこうまうこ
しうこうまうているうこうこうこうこと胸こ
うこうこうこうこうこうこうこうこ
ひうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ

[illegible]

八条の屋敷にておりさ
んよやとゆせまうこ

うこうやこうこうこうこうこうこうこ
うこうこうこうこうこうこうこうこ
どうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ
こうこうこうこうこうこうこうこ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仏法華経不軽品云我深敬汝等不敢軽慢所以者何汝等皆行菩薩道当得作仏是人雖不専読誦経典但以礼拝一切衆生皆悉恭敬乃至其人命終之時二十劫中広説是法無量衆生皆得安住大乗之教而得成仏

三世諸天の心中の法門

三世諸天の心中の法門

三世諸天の心中の法門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

るうくてしく大きの弟
をもり
そのこそそるぐさんを
とうさまよえころぐさ
よぬうどのをくてさん
をのづしくしくなり
まとありさんわで
おかあぐーてこそみ
ぐーくぐーどうんをに
てこそうひよ絶ぬん
をもえころべられと
いむしうえんいとまうーあり
ていのちのう
孟 病ひのとりさ門出家
をれば命のづるるあり
とえれいゆよい受戒く
女の戒とうろさいぶひ
さあの髪とやしさ
げ尼とふ和よあろをい
ふく

孟 大きの弟
出家いぶもせんと
ち紙もくんてん
うさそのこそるぐさんを
ぐさまこそひぐされと思ひまして
細 おやまよのゆ
とあうまてこうゆくまいぐこのをみこ
えをれさ海でこうここしいえ
大きの母
らも出給ぐで中のをよちのいよくさ
ぬりげるくぶゆ紙いむこるんいと
ちうまて。命のづうこ笑ーをさやう
中きやくりめ
よあぐりよのうまんと笑しまべ。これる
ぐさはぐて。いとあうまぐさ出ますなり。
くうう乳がりまどめう中紙を殿もいう
ぐあんるうやうよひ笑し給うんと。みげ

ちのあうり 細 辰の月
河 十月始の辰は日あり吉
去く辰の三つある時は中の
辰よあり所今年の稲
と作よを世ようを去
もうふ少石雑に中を
ふせうちく

孟 大きの母
細 菩ーとりとりくう
大きのうち
うちあうう乳がりと。菩の
つぎ門くれとふこひよあうをんねしを給人
とあうをうをうよぶをれぬこををれで。
ものんをうこ花けいしるどいをのくうぐ
のれいうをとをを殺中の母。大きのん
みぐうこと。京ぶりひやう給風いうう吹て。菩
のうをあのくくうわまどあうやこよ
ともあうーぐうこと。人やをすう
いとうくくしひやう
菩ーと大きの中のうち
どんぐそうてうとうてやうあぐうやと
うの髪いつうをれどうくむぐうもあくどな
つくうらうしげるうれりてうーとぐうぐ

を例よりとりこの

しるしもれいりなりそれりひつこ
とだ　細　菖蒲の節
めるひりもるてくれそぬ
菖
ぐりりり

しめさこそんとまりれどいよいよ哀げよあ
[illegible]
なごとをいとほそうぬてうげのやうよりはげ
なる物ゝ多あひうゝどもろうゝうして
げよるよくくうてもろされぞどものなよ
びうかるよあをまそゝやりてうゝ多
をあさひねなれあをうんうゝして
ぐいいいとうゝうゝとあゝぬほどよう
やゝれうゝ物ゝうゝ物ゝうゝうさへのつやくと
めどうゝうかゝげなうゝいうゝぬ物るんと
もうぞゝおうどゝ物ゝゝあゝどありどうゝ
がゝゝうゝうゝうゝどひうゝうゝうゝくゝ

[illegible]
ゝうゝうゝうゝうゝあゝて
うゝうゝまゝれうゝ

いゝゝゝせゝてゝうゝうゝんゝそ
うのゝうゝうゝ　孟大若ゝうゝ
へゝゝせゝゝうゝんゝうゝて若の中
若のうゝと存ゝ

やゝて、ひうゝとゝてうゝうゝぬけゝうゝひのゝんゝうゝけ
どゝうゝどゝうゝうゝけゝうゝ恨ゝうゝうゝうゝて、うゝ海ゝうゝ
人ゝうゝうゝ物ゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝ
孟若のゝ
ゝうゝ若のゝ　若の見　大若
ゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝうゝう

[illegible]

世の中とこしけるよいとい
[illegible]
業よせをいとひくられ
[illegible]
後して[illegible]
[illegible]
のくく
[illegible]
[illegible]
いきてもとにくきてゆき
しろきく
[illegible]
歌
[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゆのくれやうとて
細殿悩いとをもろ
りのくわり盃八つせミハ
くとをつてもるくあ
りけりくさ山のくりざ
みてくくみてもを
てとそさうと墓のくく

ちくとよ世の中とうのいく
つくもくうくい 郎 およ世
の中どくとくくよいとい

元の恋くうくをいぐくくくあく
義くくくしてれくるのづくとらくくげ
てくくすり給よくし給新とぐねく
かやうみくぐつりまる雨もうくくくく
げみくくくちまくくるぐくもしい
くくのやくみくくまくくるぐくもくくぐ
ゆりい海どくくいくくれくぐくくく
ぐくをくくさやくよくくくくくりいくくさ
くあくくくのくくるぐくくのくくいよいく
くぐくくくくくりくくくくくくくくくく
けくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく
く

まれてとそりそれいろの物語よりもくろう初めて
人のえ物りつくんくもくろくうさ多の　中表の白えよりえ拾ってこれまつることやわらとゆくよ大表の
ひい脱てくうせうえれて
みるうさんなるえるみ
細中表くくくのあるり
るうさんのやくよるるみ
くくくく

[illegible]

細花を後に下絵　盃月

[illegible]

中君の句を上句にして

[illegible]

盃中君大やうの絵に

[illegible]

細遺愛寺鐘欹枕聴香爐峯雪撥簾看　樂天

[illegible]

細中君の句を上句にして

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日氏のつくさもすぐれぬ
つき　御白の氏公は切乃
はなしの日氏の氏体を
の根を忘れ人うらん
やどくえ白をどされ分くす
御大君ねせの間よ白君の主
御の意切のるをを乃世ゐ
ぎりと曲ゐと中君のうえ
今うり殺の　細白君のん
殺ゐくと行恨ゐ
とく花色白君の今よ
を殺ひみすゐふも
故姫君の知のふきゐ
わえうひるうん中君
をうひ殺

白君の
詳ゐ
くえて
れくぞ
ぎれめ
とをど
うしと
しを今
うひる
くいう
御ぐゐ
殺をつ
ゐきう
ゆられけ

中君の
世長ゐ
ぐとゐ
ゐをと
ゐ殺ま
ゐとを
ゐひの
ぐう

細大君のけれるをとゐぐきをひーくを
御ぐきをうを海のくづう
ゐげきをうを殺れ殺ぐどゐりに
ゐくうをうを殺ゐ
ゐうをうを
ゐ中君御中ーきうゐ
ゐとををうをせつ

白君のおゐを
ゐのををうつをせどゐ

孟中君の御
ゐれをひをゐうう
ゐをうを
ゐをとを
ゐ殺ま
ゐうやとを
ゐひのんぐう
ゐ殺ゐうめをう

女房を

と白君のをを
ゐ殺ゐ殺ゐををを
御白君のん濃をを
中君ん人ーて美ー
ゐゐ御

細御前ん美れ御
第本書ゐ恨ゐをゐ
ゐをとをゐをゐ御ゐ
ゐゐ無御ゐくゐを
ゐ殺ゐをを恨殺ゐゐ
ゐのゐくゐの殺定ゐゐ
ひゐゐんゐをもゐく
ゐゐをゐゐゐをゐる
ゐをゐゐゐどけゐゐ
ゐゐゐゐをゐをゐゐ

ゐも殺ゐゐゐゐ殺ゐを
ゐ殺ゐゐ殺ゐゐゐ
ゐゐ殺ゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐ
ゐゐ

しきりていうづら女乃
ぜひもなくんと中ぞの
ところをかつりまつる
中納言のわらべどもよ
白ぞのかたあは中納言も
ちからぞなくさうくき
人やり出てをどりあり
何らかいやるへ

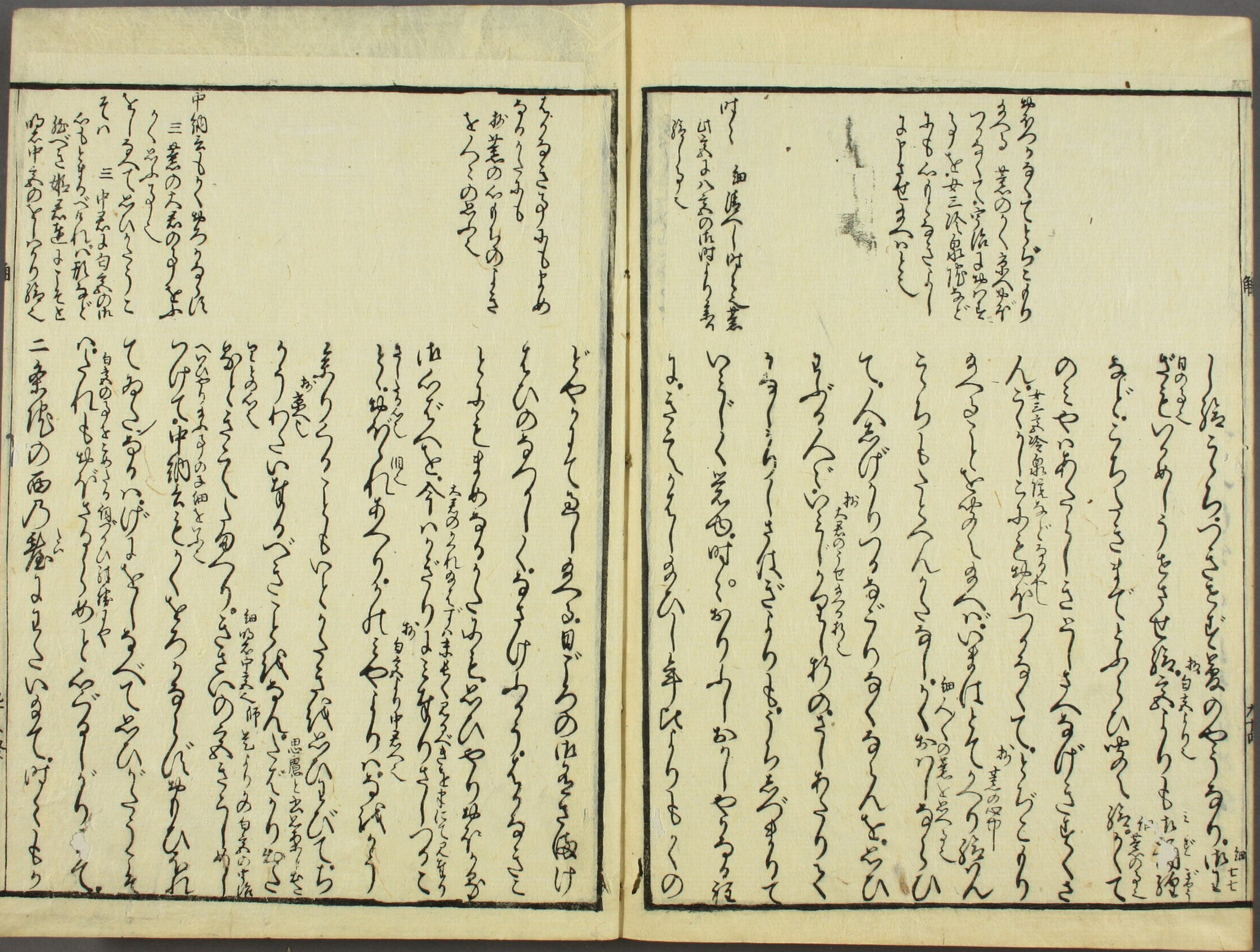
云のあるへうをもとなれて人ぐやをと
らうよりびつひんとあるさしてゐりめ
ぎうりせるどもあくれみをかうう
をれんとていくうやをあをかれく
ちさまぐ拍とをひくれどんづるとこ流
細白の早ひまつて　孟白ぞの白ぞのうをもく
まめやうよとつくひ流ありしさ海みどうひる
白ぞよくそとうまくれどこのうよくそいかのしめとをど
行ぞんようけてもいくうろくくうる
しくうをんまうりてくどくあく
白ぞ　孟ぞ
をばをのこるをて日うどを海よくれいう白
ぎうりのうろもこづくいあくでよ
いよりのうくげよのまめいうをとかすべ

ぞ
しくうをんよ　細ぞのか
うくうをんさ海をいぐと
くめくひまつる

女ぞ〳〵　細　白ぞ客分
女ぞくで蒼よんとうを

ぞ〳〵くへ中ぞのかを
うくうかうくをうくん
孟中ぞのかをうくん
白ぞのをひまつる
をうう根ををををぐをて
いうかてう世のをうを
旁ぞの根もうくうぬ
やくよをうてくく
くくれるさ拍うく
細つまくをを海よあ流
内海うをぐををとを
うう流つるどくを嗅同
拍つれるさハ中ぞのうを
中ぞハつれるさ拍れ内海
どよををてくく　細つてわれ
つくるさんよ分をとを
くくをを拍くをひをくせん
仲白ぞよをひをくせを
まくくんと中ぞの紫をを
うう

ぐんくうをんとをのぐをくうぬ
はくるるをくひよをがくくもうを海くく
わをくうれべいりでんのをうをも根
をををぐをて家ようくくてんを
白裏　孟伝
をくくれるさ拍くくをうをみもさ
くくていをあくうるどくよをがくをびて
白ぞ　中ぞのうを
くをいくをうをぬをくるをどをのて
ををくうをんどくれるくはくるくを拍を
細宗流のうを　中ぞのうを
くくをををををくくくくくくを
けどくをぬ年のくれ方みはくくくぬ不
白ぞの紫色剣よハ仙ぬをあれを日
ぐよ宗をくくるをあくくあくくを
くくくひ雪よをくくるをあくくを



女一宮 細 [illegible]

[illegible]

中納言 細 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[